

カキ生育情報

千葉県
令和元年5月号

平成31年4月の気象

平成31年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第1～第3半旬は平年より1.4～2.4℃低く、第4半旬は平年並、第5半旬は平年より3.5℃高くなったが、第6半旬は平年より3.0℃低くなった。月平均気温は13.1℃で、平年より0.8℃、前年より3.2℃低かった。

降水量は、第1半旬は降雨がなく、第2、第3半旬は平年より多く、第4、第5半旬は平年より少なかったが、第6半旬は平年より多かった。月合計は215mmで、平年の124%、前年の312%であった。

日照時間は、第1～4半旬は平年並～やや多めに推移し、第5半旬はほぼ平年並、第6半旬は平年より少なかった。月合計は199時間で、平年の116%、前年の97%であった。

表1 平成31年4月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	9.6	11.7	16.4	0	28	2	54	27	36
2	11.7	13.1	13.9	70	26	4	35	28	44
3	11.1	13.5	16.4	65	27	16	30	28	25
4	15.0	14.2	14.9	2	37	19	40	28	33
5	18.5	15.0	17.8	14	36	28	29	30	28
6	12.7	15.7	18.1	64	20	0	12	31	39
平均/計	13.1	13.9	16.3	215	174	69	199	172	205

樹の生育

発芽期を表2に示した。

暖地園芸研究所では「西村早生」が3月19日、「松本早生富有」が3月21日、「富有」が3月22日で、いずれも生育が極めて早かった前年より2～4日遅いものの、平年と比較すると4～6日早かった。ただし、4月の平均気温がやや低く推移したため、開花状況については5月中旬時点ではほぼ平年並と推察される。

いすみ市の「西村早生」は3月31日で平年より2日、前年より6日遅かった。市原市の「松本早生富有」は4月2日で平年より1日、前年より18日遅かった。

表2 発芽期

品 種	調査地	発芽日(月.日)		
		本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	3.31	3.29	3.25
	暖地園研	3.19	3.23	3.15
松本早生富有	市原市	4.2	4.1	3.15
	暖地園研	3.21	3.27	3.19
富 有	暖地園研	3.22	3.27	3.20

平年：暖地園研は1990年～2018年の平均、いすみ市は2000年～2018年の平均（2010年を除く）、市原市は2012～2018年の平均（2014年、2015年を除く）

5～6月の作業

着果管理（摘蕾、受粉）

摘蕾は原則として開花7～10日前を目安に、1結果枝当たり1蕾残すように行う。結果母枝先端付近の生育の良い長い結果枝では、2蕾残してもよい。残すのは、結果枝中央部のものか、基部から数えて2～3番目の充実したもので、横向きでヘタが大きく、果梗の太い蕾である。また、5葉以下の結果枝の蕾は全て落とす。目標とする着果量に対して、「松本早生富有」及び「富有」では1.2倍、「西村早生」では渋果対策のために1.5倍の蕾を残す。

人工受粉は不完全甘ガキの「西村早生」、単為結実性の弱い「伊豆」では確実に行う。「富有」は受粉樹が適切に混植（混植割合が1～2割程度で圃場に均一に配置）されていれば省略してもよいが、その場合は蕾を上記よりやや多めに残す。「次郎」、「平核無」では人工受粉は行わない。

枝管理

不定芽の発生が多いと枝葉が込み合い、病害虫の発生を助長する。来年の結果母枝となる予備枝として必要なもの以外は摘除する。なお、大きな切り口付近の不定芽は、傷口保護のため弱めの枝を2、3本残す。

病害虫防除

5月中旬は、炭疽病、黒星病、落葉病の予防時期であり、スリップス類、カイガラムシ類、ケムシ類の防除時期でもある。また、6月上中旬には、炭疽病、落葉病とカキノヘタムシガの防除時期となる。「西村早生」では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分に注意する。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>